

部局名	消防本部	所属名	警防課	所属長名	日原 龍一郎	電 話	459-7804
-----	------	-----	-----	------	--------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3373		事務事業名称	水利整備事業					短縮コード	経常		臨時	3373
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	03	消防施設費	
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務			根拠法令等		消防法, 消防水利の基準（昭和39年12月10日消防庁告示第7号）							
☐ その他													
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
消防法第20条第1項に規定する「消防に必要な水利の基準」，消防庁の勧告として制定されたのを契機に消防水利の充足率を上げるために開始する。また,地震等の大規模災害時の延焼火災に対応するため，住宅密集地等に消防水利整備要綱及び防火水槽整備計画に基づき耐震性防火貯水槽（40 t 級）（100 t 級）を隔年毎に設置する。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	04	第4章安心安全都市をめざして						
上下水道局による上水道管の設置・改良工事に伴い，消火栓の設置・改良基数が増加している。					大項目（節）	02	第2節市民の安全						
					中 項 目	02	2. 消防						
					小 項 目	02	(2)消防体制の充実						
					細 項 目	04	④消防水利の確保						
				実施計画の計画事業	4047	消防水利整備事業							
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	防火水槽・消火栓							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： (1) 消火栓設置・改良・修理。 (2) 防火水槽の撤去。 (3) 耐震性防火水槽（100 t 級）の設置。							
	※平成24年度に計画していること： (1) 消火栓設置・改良・修理。							
意図 （何を狙っているのか）	市街地を中心に，耐震性防火水槽及び消火栓を設置し，消防水利の増強を図り市民生活の安全を確保する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	防火水槽数（40 t 以上の公設・私設数）	数量	490	495	492	498	
	指標2	消火栓数（φ150mm以上）	数量	991	1,001	1,008	1,021	
	指標3							
活動指標	指標1	防火水槽設置・撤去工事・漏水工事等	数量	2	2	3	0	
	指標2	消火栓設置・改良・修理等	数量	48	50	57	50	
	指標3							
成果指標	指標1	消防水利充足率	比率	85	86	85	86	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3373	事務事業名称	水利整備事業				所属名	警防課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			「消防に必要な水利の基準」に基づく充足率を引き上げるよう耐震性防火水槽及び消火栓の設置を継続する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			消火栓の設置・改良及び修理数の増加による負担金，並びに耐震性防火水槽の設置に伴う経費負担は増加するが，消火栓及び耐震性防火水槽の整備により充足率を引き上げ市民の安心・安全が図れる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
現状通り維持管理に努めてほしい。									

所属長コメント	消防水利施設の充実強化を図るため，引続き防火水槽及び消火栓の設置を推進していく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									